

山形森林管理署

〒991-0053 山形県寒河江市元町1-17-2
tel.0237-86-3161 fax.0237-86-3163

【我が署の名所⑥】
山形県西村山郡大江町
——「神通峡」

「四季の彩り 神通峡」



山 形県大江町の南西部に位置する神通峡は、「朝日連峰」を源とする月布川の流れがくりあげた渓谷です。

その深い渓谷とヒメコマツ・ネズコが混交する広葉樹林が、四季の変化に富んだ彩りを見せてくれる景勝地であり、朝日連峰の眺望地点として「山麓随」の大頭森地区と合わせ「神通峡・大頭森風景林」に設定しています。

渓谷沿いには遊歩道（滝前口から古寺砂防堰堤まで4.1km）、トイレ、東屋が整備されており、草木供養塔のある滝前口と古寺砂防堰堤の両側に駐車場があります。

神通峡には、かつて国有林野事業のための

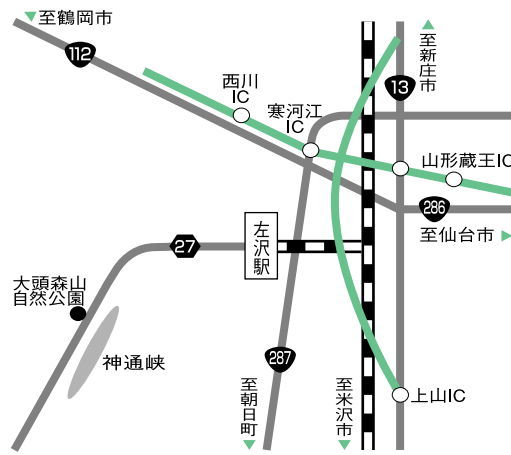
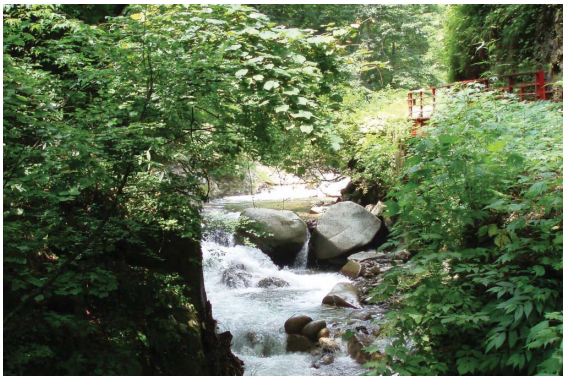
森林軌道（鉄道）があり、昭和42年に廃線となりました。その後、軌道跡の整備を町が行い、深山幽谷にいざなう遊歩道として蘇らせたものです。

渓谷の清らかな流れと、春の新緑、夏の青葉

秋の紅葉と四季折々に変化する自然の美しさを堪能でき、6月には新緑が、10月中旬からは紅葉が見ごろとなります。

みなさんも、この美しい自然の中、ハイキングやバードウォッチでリフレッシュしてみませんか。

なお、神通峡を楽しめるのは、5月中旬から11月上旬までの期間限定です。冬期間は閉鎖となりますのでご注意ください。



●交通アクセス
寒河江ICから大江町まで車で約10分。そこから神通峡まで車で約40分。

神通峡の由来
本郷村と七軒村が合併して漆川村が誕生した昭和十九年、山形県知事安孫子藤吉氏は、当時の漆川村長からの深谷への命名の依頼を受けた。氏は、ここに遊び、漆川と古寺千眼寺に古跡の意義を求め「神通峡」と命名した。知事からの説明には、次の一文が添えられていた。
法華経観音普門品（ふせんぼん）にいわく
具足神通力（神通力を具足し）
広修智方便（広く智方便を修め）
十方諸国土（十方をまわるとる国土）
無刹不現身（刹として身を現せざること無し）
漆川（月布川の古い呼び名）の上流に千眼寺の古跡あり。この千眼寺の名こそは観世音大慈大悲の神通力があらゆる国土、あらゆる瞬間にも至らざる無きを表現したものである。漆川（月布川）の包蔵する福利は開発によって無限の神通力となるであらう。一面、また朝日の霊峰万古の雪に通ずる一線でもある。この流れを汲むものは奇（ひ）しく神通力の分身である。よろしく、和衷協同、自重自励すべしである。
神通峡は、まさに、朝日山地の雪深を源とした、岩ばしる真清水と垂水がおりなす無窮の深谷である。
平成十五年秋 大江町

●東北森林管理局のホームページをご覧ください
www.rinya.maff.go.jp/tohoku/